

庭先集荷について

令和3年産も出荷契約に基づいた米の出荷をお願い致します。

JAに出荷いただくお米について、担い手農家のみなさまの農舎までJAが集荷に伺います。JA営農経済センター、またはTACまでお気軽にお声かけください。

※今年度から担当職員の労働環境改善のため、**庭先集荷のご依頼に対する電話対応、および集荷作業対応を下記の通りとさせていただきます。**

集荷受付および集荷作業時間：

月曜日から土曜日 午前8:30～午後5:00まで



水稻生育情報

刈り遅れに注意し、適期に収穫しましょう！

入水は、収穫に支障のない範囲で収穫直前まで！

生育状況と収穫適期

水稻の生育は、7月中旬の梅雨明け以降の高温の影響もあり、やや遅れていた生育が平年並みまで回復しています。今後、気温の高い日が続くと登熟期間が短くなりますので、収穫が遅れないよう出穂後30日を過ぎたら収穫に取り掛かれるよう準備をしましょう。

収穫時期の目安

湖北農業農村振興事務所農産普及課 稲作情報No.7より

	田植時期	出穂期	収穫適期予想 (登熟期間32～34日)
みずかがみ	4月下旬～ 5月上旬	7/22頃	8/23頃～
コシヒカリ	5月上旬	7/29頃	8/30頃～
	5月中旬	8/2頃	9/3頃～

※気温の推移や稲体の栄養状態等により成熟期の遅速があるので、ほ場で籾の黄化率を確認してから刈取り作業を行いましょう。

いもち注意報発令中！！

8月中～下旬にかけて降雨が多く非常にいもち病が発生しやすい条件になっています。今後出穂期を迎える中生および晩生品種では、穂いもちの発生が懸念されます。そこで、ほ場を見て回り、いもちの発生が認められたほ場では、適期に防除しましょう。

このような症状が見られたら防除をおすすめします！

いもち病



ごま葉枯病



稲こうじ病



インフラスフロアブル

治療効果と予防効果を兼備し、適期幅が広く残効性に優れています。散布後、速やかに稲体内に浸透しますので、降雨による影響が少なく、散布後の急な降雨や、降雨のあい間の散布でも防除効果を発揮します。



適用病害と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

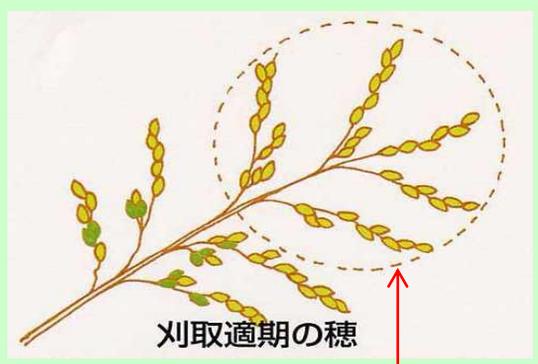
作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) 変色米 (アルタナリア菌 エピコッカム菌 カーブラリア菌) もみ枯細菌病 内穎褐変病 稲こうじ病	1000倍	60～ 150ℓ	収穫7日前 まで	本剤 2回 トリシクラゾール剤 4回 〔育苗箱への処理は1回、 本田では3回〕 フェリムゾン剤 2回	散布
	いもち病	300倍	25ℓ			
		原液	120mℓ			
		8倍	800mℓ			
		30倍	3ℓ			
8倍	800mℓ	空中散布				
						無人ヘリ散布

お買い求めの際は営農経済センター・各営農経済係までご連絡下さい！

収穫時期の判断

収穫時期が近づいたら田んぼに入って、
籾の黄化を確認しましょう。

- 籾黄化率50%で、収穫7日前
- 籾黄化率85~90%
(みずかがみは90%)で、収穫適期



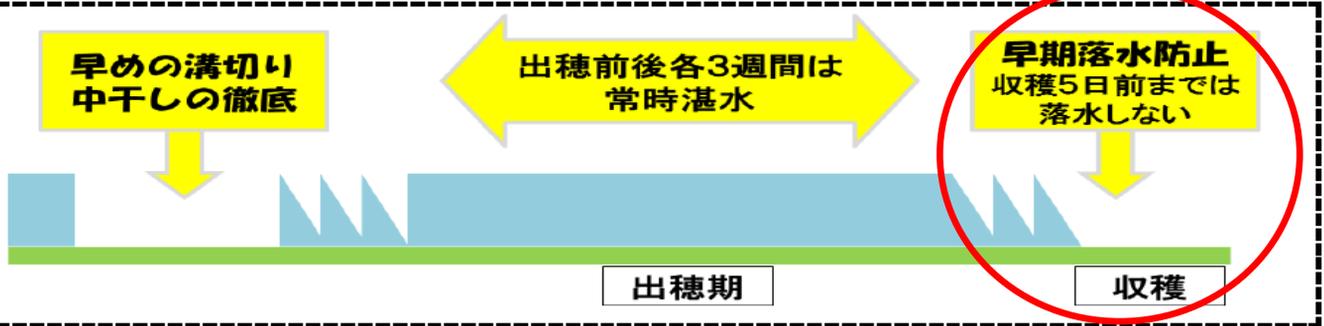
刈取適期の穂

上から3~4本目の枝梗につく籾が全て黄化した頃

収穫までの水管理

落水時期の目安は収穫の5日前です。

白未熟粒や胴割粒の発生を防ぐため、収穫に支障のない範囲で、できる限り落水を遅らせましょう。



収穫直前の入水は、できるだけ遅くまで、また
間断灌漑をすることで、圃場を固めながら品質
向上につながるのか。



収穫作業時の事故防止

コンバイン作業事故にご注意下さい！

コンバインによる事故は、以下の3点が多く発生しています。

- ☑ **圃場内・移動中の転倒・横転**
圃場の進入・脱出時は特に注意
運転席から見えないところには
特に注意しましょう。
- ☑ **整備中の事故**
点検・整備時は必ずエンジンを止めましょう
カバーを外したままの使用は危険です。
- ☑ **巻き込まれ**
手こぎ時はだぶつく服装は巻き込まれやすい！
ぴったりした手袋・服装で作業しましょう。



大麦【令和4年産大麦の栽培に向けて】

水稲収穫後から次年産大麦の栽培は始まっています
～**早めの排水溝設置で適期は種を目指しましょう**～

水稲収穫後は、次年産大麦の栽培に向け、以下を参考に大麦播種の準備を始めましょう。
早めの準備で、適期播種がやりやすくなります！！

○早めの額縁排水溝の設置

水稲収穫後、早めに額縁排水溝を設置し、中干し溝と併せてほ場を乾かします。
また、コンバイン収穫で荒れているほ場の上下は出来るだけ均平作業を行ないます。

○排水溝の設置

田の乾湿に合わせて、排水溝の間隔を決め（排水の悪いほ場では畦幅を狭く）、畦面や排水溝に水たまりが出来ないように表面排水を行います。また、必ず排水溝を排水口までつなげます。



○土づくりの実践(石灰質資材等の施用)

粒状苦土石灰(100kg/10a)を必ず施用します。土壌pHの目標値は**6.5**になります。

大豆【今後の管理】

干ばつ時のうね間(明渠)かん水(莢数確保と青立ち防止)

大豆は生育中期以降になると水分を多く必要とします。
開花期に土壌水分が不足すると莢の付きが悪くなって減収を招くばかりか、大粒率や百粒重も低下します。

開花期以降に晴天が1週間程度続けば、うね間かん水を行います。

病虫害防除

- 大豆は子実害虫の食害による減収や品質低下が著しいため、薬剤防除は必要不可欠な作業です。
- 莢が付き始める**8月中旬から9月中旬にかけて10日おきに4回の薬剤防除**を徹底します。
- 薬剤の散布には専用噴頭を用いるなどして葉の裏や莢に薬剤が十分かかるようにします。

防除時期	薬剤名	散布量	対象病虫害 (10aあたり)
8月中旬	トレボン粉剤DL	4kg	カメシ類、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマバエ マジンクイガ、ハスモンヨトウ、フタスジヒメハムシなど
8月下旬	スミチオンベルコート粉剤DL	3kg	マジンクイガ、カメシ類、紫斑病
9月上旬	スミチオンベルコート粉剤DL	3kg	マジンクイガ カメシ類 紫斑病
9月中旬	ロムダン粉剤DL	4kg	ハスモンヨトウ

大豆栽培における雑草対策

除草剤紹介



■上手な使い方

- 10アールあたりの推奨薬量250mlを、100ℓの水で希釈して散布してください。
- 雑草の茎葉が全体が濡れるくらいに、しっかりと散布することがポイントです。
- 登録作物にかけても大丈夫です。
- 農着剤を加用する必要はありません。加用しなくても十分な効果が得られます。

！ 注意

大きくなったイネ科雑草の葉齢は判別しにくいので、下の表を参考に、散布適期を誤らないよう注意してください。

■葉齢と草丈の目安

	8葉期	10葉期
ノビエ	約30cm	約50cm
メヒシバ	約20cm	約30cm



※メヒシバは発生初期、直立せず葉方向に生育することが多いので高さ測りに注意してください。



作物名	適用雑草名	使用時期	使用回数	10aあたり使用薬量	10aあたり希釈水量	使用方法
だいず	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	雑草生育期 (イネ科雑草の3～10葉期) 収穫30日 まで	1回	200～300ml	通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～50ℓ	雑草茎葉散布又は 全面散布

大豆の種取をされる方へ

今年「**里のほほえみ**」「**ことゆたかA1号**」を種取りをされる方へお知らせします！

上記2品種については、選別網の網目が**7.9mm(エンレイと同じ)**になります。現在オオツル用の選別網8.5mmしかお持ちでない方は収穫までにご用意をお忘れなく！JA選別機を利用される方につきましては、コンタミ防止のため選別機の利用予約時にどの品種を選別するかお知らせください！



大豆の無選別調整での本乾燥施設出荷について紹介

煩わしい作業から解放されませんか？

皆様のお声をお聞かせください！

刈り取った大豆を水分13.0%以下まで乾燥していただき施設搬入！
施設搬入のため、**選別・袋詰め**の作業がなくなります！



現状

- ①乾燥
- ②選別
- ③袋詰め
- ④搬入



乾燥大豆搬入

- ①**乾燥**
- ②**無選別調整での搬入**



現在TACを通じて**取組の利用意向調査を実施しています！**利用を希望される方、興味がある方は各地域のTAC担当までお問い合わせください！

好評につき令和4年産も“土力UPチャレンジ” を継続して実施します！

“イネは地力でとる”を見直そう！JAが応援します！

- ①令和4年産のコメ買取価格に“**土力UP加算金**”を設けます！
※令和4年産北びわこ生産基準米の栽培面積のうち、要件を満たす土づくり肥料を基準量以上施用した面積×8.5俵を上限として、**北びわこ生産基準米の出荷1俵につき300円を加算します！**
- ②“土づくり”を**タイプ別に提案**します！
- ③**散布作業請負もいたします**（1,100円(税込)/10a）。
散布する手間がない方は**JAにお任せください！**
土づくり肥料を積極的に施用しましょう！

タイプ

おすすめ肥料

資材要件

- A**
- ・バランスよく土づくりをしたい
 - ・複年で土壤養分を改善したい



とれ太郎スーパー
基準量：60kg/10a

リン酸・ケイ酸・アルカリ
を保証する肥料

《ク溶性リン酸・苦土・ケイ酸・アルカリ分をバランスよく含む総合的な土づくり肥料！》

- B**
- ・不足成分に特化して補いたい
 - ・特に品質の向上を狙いたい



けい酸加里プレミア34
基準量：秋春 40kg/10a
追肥 20kg/10a

ケイ酸・加里を保証する
肥料

《管内で不足しているケイ酸と加里の吸収効率を高めた土づくり肥料！》

- C**
- ・複年で転作に取り組んでおり、
大麦や大豆の収量も高めたい



新ふりかけ堆肥eco
基準量：100kg/10a

牛フン堆肥を濃縮した肥料
または
牛フン堆肥1t/10a以上

《腐植酸と有機物の効果で地力窒素を向上させ土壤のバランスを改善する肥料！》

土壌分析

管内の担い手農家を対象に、**無料**で土壌分析を行っております。

近年、水稻の収量・品質低下の原因の一つには、地力の低下が考えられます。ご自身の水田土壌の状態を調べ、不足している養分を補う事が収量・品質向上の第一歩です！

資材投入を機に土壌分析をご希望の方は、お気軽に各担当TACまでご相談ください！！

対象者

担い手農家（認定農業者、農業法人及び集落営農組織）

分析点数

担い手あたり5点までとします。（5圃場）

土壌分析基本項目

水田：pH、CEC、りん酸、石灰、苦土、加里、けい酸

その他：pH、EC、CEC、硝酸態窒素、りん酸、石灰、苦土、加里

**施用する土づくり肥料の
種類を迷っておられる方、
一度土壌分析をされては
いかがですか？**